

※本資料は、神戸市政記者クラブ、神戸経済記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブに同時資料提供しています。

記者資料提供（令和4年8月1日）

企画調整局 医療・新産業本部

医療産業都市部 調査課 藤井、松下

TEL：078-322-6319 内線 2353 FAX：078-322-6010

公益財団法人神戸医療産業都市推進機構

クラスター推進センター 事業推進課 山本、稲葉

TEL：078-306-0719 FAX：078-306-0752



令和4年度 神戸医療産業都市研究開発補助金 交付事業者の決定

神戸医療産業都市推進機構は、神戸医療産業都市の企業・団体等によるイノベーションの創出を促進するとともに、創業前後のスタートアップが持つ技術の社会実装を加速させることを目的とした「神戸医療産業都市研究開発補助金」の公募を、4月4日～5月11日の期間で実施しました。

厳正な審査の結果、下記のとおり交付決定しましたのでお知らせします。

1. 交付決定（詳細は別紙のとおり）

共同研究・共同事業枠 交付決定2件（申請20件）

申請者名	研究・事業名
カーブジェン株式会社	日米共同による菌種推定画像認識AIの開発
兵庫県立こども病院	小児ネフローゼ症候群のワクチン療法の開発

若手研究者支援枠 交付決定2件（申請17件）

申請者名	研究・事業名
国立大学法人神戸大学 大学院医学研究科 病態シグナル学部門 大学院生 小牧 遼平	アルツハイマー病の発症機構の解明
兵庫県立粒子線医療センター附属 神戸陽子線センター 職員 小橋 佑介	ダイナミックコリメータシステムの開発

臨床研究推進枠 交付決定2件（申請3件）

申請者名	研究・事業名
株式会社 Integral Geometry Science	マイクロ波マンモグラフィにおける良性疾患の検出に関する研究
地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院	慢性期脳梗塞に対するCD34陽性細胞治療

ギャップファンド枠 交付決定4件（申請12件）

申請者名	研究・事業名
オプティウム・バイオテクノロジーズ株式会社	固形がんの有効な次世代 CAR-T 細胞開発
株式会社 Aikomi	認知症の人のケアプラン支援アプリの開発
国立大学法人神戸大学 准教授 中楯 龍	軟性内視鏡手術支援マニピュレータの事業化
セレイドセラピューティクス株式会社	体外増幅造血幹細胞の非臨床 POC 確立

（五十音順）

2. 選定方法

事務局において書類審査の後、外部有識者を含めた選定委員会による審査の結果を踏まえ、神戸医療産業都市推進機構理事長が交付決定する。

【選定委員】（順不同）

（1）共同研究・共同事業枠、若手研究者支援枠、臨床研究推進枠

- 南 康博（国立大学法人神戸大学 医学科長・医学部長）
- 坂井 千秋（地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院 臨床研究推進センター 高難度研究推進部長）
- 西野 麻理（日本イーライリリー株式会社 研究開発戦略・政策本部 薬事政策部長）
- 前田 朋子（日本ペーリンガーインゲルハイム株式会社 神戸医薬研究所 創薬研究アライアンス部長）
- 川本 篤彦（公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センター長）
- 藤井 秀典（神戸市 企画調整局 医療・新産業本部 医療産業都市部 調査課長）
- 花谷 忠昭（公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 クラスタ推進センター統括監）

（2）ギャップファンド枠

- 土井 尚人（株式会社イーベック 代表取締役社長）
- 蛭田 学（株式会社日本医療機器開発機構 マーケティングマネージャー）
- 堂田 文明（合同会社 INVENTIO PARTNERS 代表兼 CEO）
- 坂田 恒昭（国立大学法人大阪大学共創機構 特任教授）
- 藤井 秀典（神戸市 企画調整局 医療・新産業本部 医療産業都市部 調査課長）
- 花谷 忠昭（公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 クラスタ推進センター統括監）

（参考）神戸医療産業都市研究開発補助金の概要

神戸医療産業都市の発展に資する新たな技術や製品・サービスの創出につながると認められる研究に対して、①～④の補助対象枠を設け補助制度を運用しています。

① 共同研究・共同事業枠

対象：神戸医療産業都市に拠点を有する企業等の法人もしくは神戸市内に拠点を有する大学、研究機関、医療機関が共同で行う研究・事業。

補助額：1事業あたり最大10,000千円

期間：令和4年4月1日から令和7年3月末日までの3年を上限

②若手研究者支援枠

対象：①に所属する40歳未満の研究者・技術者が行う研究・事業。

補助額：1事業あたり最大2,500千円

期間：令和4年4月1日から令和5年3月末日までの1年を上限

③臨床研究推進枠（新規）

対象：神戸医療産業都市に拠点を有する医療機関と共同で行う臨床研究。

補助額：1事業あたり最大5,000千円

期間：令和4年4月1日から令和6年3月末日までの2年を上限

④ギャップファンド枠（神戸ライフサイエンスギャップファンド）

対象：設立5年以内の企業等の法人もしくは神戸市内での創業を具体的に計画している個人が、
ライフサイエンス分野における研究開発シーズの事業化を促進するために行う事業。

補助額：1事業あたり最大5,000千円

期間：令和4年4月1日から令和5年3月末日までの1年を上限

詳細は、下記をご参照ください。

<https://www.fbri-kobe.org/cluster/support/jyosei1>

令和4年度 神戸医療産業都市研究開発補助金

【共同研究・共同事業枠】 交付決定2件（申請20件）

申請者名	共同先名	研究・事業名	研究・事業の概要
① カーブジェン株式会社	国立大学法人神戸大学 国立研究開発法人国立国際医療研究センター Northwell Health	日米共同による菌種推定画像認識AIの開発	当社では、薬剤耐性問題の一因である経験的な抗菌薬処方による弊害を防ぐ為に、検体グラム染色像から原因菌の推定AIを国内で開発している。本技術と米国有力機関の教師データをもとに米国版AIを構築し、KBICに拠点有するベンチャー企業として米国進出を目指す。
② 兵庫県立こども病院	イーザイ株式会社 国立大学法人神戸大学	小児ネフローゼ症候群のワクチン療法の開発	小児ネフローゼ症候群をモデル疾患とし、イーザイ株式会社が有するデリバリー技術を応用した核酸包含脂質ナノ粒子技術の開発を行い、免疫寛容によるワクチン療法技術の確立を目指す。

【若手研究者支援枠】 交付決定2件（申請17件）

申請者名	連携先名	研究・事業名	研究・事業の概要
① 国立大学法人神戸大学 大学院医学研究科 病態シグナル学部門 大学院生 小牧 遼平	イーザイ株式会社 株式会社カン研究所	アルツハイマー病の発症機構の解明	アルツハイマー型認知症では、加齢に伴って神経細胞が変性して死に、その結果、学習・記憶が障害されるが、その発症と進展の機構は不明である。本研究・事業では、本疾患の発症における神経細胞の変性と死の機構を解明し、超早期診断法と根治療法の開発を試みる。
② 兵庫県立粒子線医療センター附属 神戸陽子線センター 職員 小橋 佑介	株式会社日立製作所	ダイナミックコリメータシステムの開発	本研究では、新たな粒子線治療システムとして、ビームエネルギーごとに多葉コリメータ形状を変化させながらスポットスキミング照射を行う、ダイナミックコリメータシステムの実現を目指す。本システムの開発を通し、特に神戸医療産業都市におけるがん治療研究開発の発展に寄与する。

【臨床研究推進枠】 交付決定2件（申請3件）

申請者名	共同先名	研究・事業名	研究・事業の概要
	臨床研究実施機関		
① 株式会社Integral Geometry Science	国立大学法人神戸大学 数理・データサイエンスセンター	マイクロ波マンモグラフィにおける良性疾患の検出に関する研究	本事業では、マイクロ波マンモグラフィにおける良性疾患の種別にフォーカスして検証を実施し、世界初となるマイクロ波マンモグラフィにおける診断の指針を作成する。将来的には、この指針を基に、多くの医療関係者及び研究者がマイクロ波マンモグラフィについて研究を深め、臨床の現場において更なる発展が可能となるよう目指し、神戸市に研究拠点を築くモデルプランの検証を行う。
	国立大学法人神戸大学 大学院医学研究科 国立大学法人神戸大学 医学部附属国際がん医療・研究センター		
② 地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター 医療イノベーション推進センター	慢性期脳梗塞に対するCD34陽性細胞治療	「慢性期脳梗塞患者に対する自家末梢血CD34 陽性細胞の内頸動脈内投与」に関する医師主導治験により、同細胞治療の薬事承認を目指す。本研究により、神戸医療産業都市内の機関連携がより強固となり、トランスレーショナルリサーチの更なる活性化が見込まれる。
	地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院		

【ギャップファンド枠】 交付決定4件（申請12件）

申請者名	研究・事業名	研究・事業の概要
① オプティウム・バイオテクノロジーズ株式会社	固形がんにも有効な次世代CAR-T細胞開発	固形がんを標的としたCAR-T細胞の薬理評価を実施
② 株式会社Aikomi	認知症の人のケアプラン支援アプリの開発	AIを利用してパーソン・センタード・ケア理念に基づいて非薬物療法を実施するための認知症の人向けデジタルセラピー機器を開発している。タブレットを活用し、画像を映し出すことでコミュニケーションの困難な認知症の人の残存能力を引き出す効果が期待される。臨床ではすでに家族や介護スタッフに向け、コミュニケーションが促進できるサービスを提供し、今後さらにAI分析の精度を上げ、医療機器として活用できるように開発を進めている。
③ 国立大学法人神戸大学 准教授 中橋 龍	軟性内視鏡手術支援マニピュレータの事業化	軟性内視鏡の先端に装備して手術が可能な細径マニピュレータを開発し、これまでに世界最小径、動物実験で効果検証済の試作機が完成している。この実用化を促進するため、本事業では海外展示会への出展、製品版に向けた改良開発を行う。
④ セレイドセラピューティクス株式会社	体外増幅造血幹細胞の非臨床POC確立	米国臍帯血バンクから輸入した凍結臍帯血からヒト造血幹細胞を濃縮し、それを当社独自の培地にてex vivo増幅培養を行い、増幅したヒト造血幹細胞を免疫不全マウスに移植し、骨髄再構築能を検証する(=非臨床POC)。